

管内の百名山「日光白根山」



雪化粧した日光白根山

「白根山」は、古来より峰が雪で白く染まる様子から、その名称で呼ばれてきたと言われており、日本各地に白根山はありますが、他の白根山と区別するため、一般的に「日光白根山」と呼ばれています。

日光白根山（標高2,578㍎）は、群馬県利根郡片品村と栃木県日光市の県境にあり、関東以北の中にあっては一番高い山です。しかし、その位置が地理的に関東の中心部から奥地にあることで、最高峰と気付く人は少ないようです。日光市の戦場ヶ原からさえ、手前の山々に遮られ山の全景を望むのは難しいほどです。



ロープウェイ山頂駅から日光白根山を望む

最後の噴火は明治22年で、当時の爆裂火口跡が山頂一帯に残っています。山頂からは360度の優れた景色を堪能でき、天候に恵まれれば富士山・日本アルプスの眺望も楽しむことができます。

登山ルートは、片品村の菅沼登山口から弥蛇ヶ池→奥白根山→五色沼→弥蛇ヶ池→菅沼へ戻るルートが一般的ですが、最近では、丸沼高原スキー場にある日光白根山ロープウェイで一気に標高2,000㍎付近まで行けることから、比較的楽に登れるため多くの登山者で賑わいをみせています。

日光白根山は日光国立公園内にあり、シラビソ、コメツガ、アスナロ、ダケカンバ等の樹林が広がっています。また、ハクサンシャクナゲ、ハクサンチドリ、マルバタケブキ、シラネアオイ等豊富な高山植物が登山者の目をなごませてくれます。

日光白根山は、良好な自然環境を維持しており、今後とも、当署管内の他の百名山「谷川岳」「武尊山」「皇海山」等とともに、森林生態系の維持・保全に努めていきたいと考えています。

（利根沼田森林管理署 広報広聴連絡官 高村 和三）

